

石岡市人口ビジョンについて 総合戦略との一体化について

1 石岡市の人口動態推移

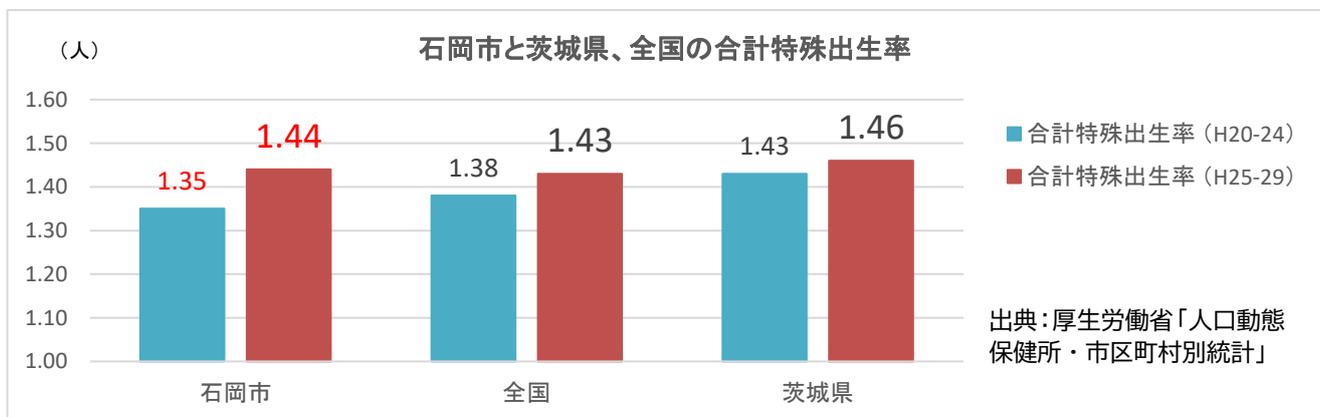
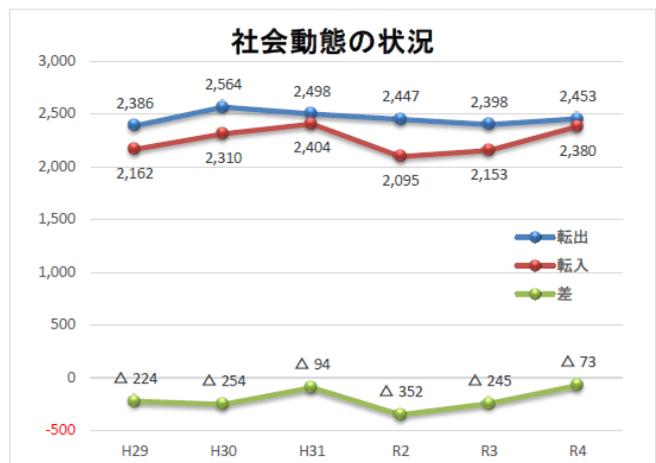
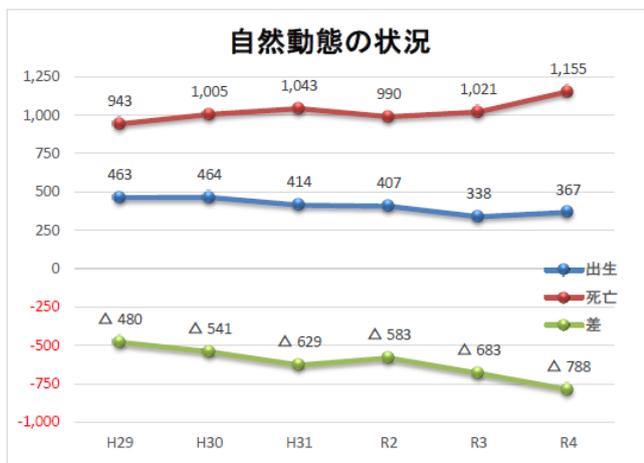
(茨城県常住人口調査結果報告書より作成)

	常住人口 (10.1 現在)	人口動態 (1.1~12.31)	自然動態			社会動態			合計
			出生	死亡	小計	転入	転出	小計	
H17(国調)	81,887	△ 387	688	762	△ 74	2,740	3,053	△ 313	△ 387
H22(国調)	79,687	△ 717	538	856	△ 318	2,413	2,812	△ 399	△ 717
H27(国調)	76,020	△ 742	545	958	△ 413	2,328	2,657	△ 329	△ 742
R2(国調)	73,061	△ 935	407	990	△ 583	2,095	2,447	△ 352	△ 935
R3	72,050	△ 928	338	1,021	△ 683	2,153	2,398	△ 245	△ 928
R4	71,173	△ 861	367	1,155	△ 788	2,380	2,453	△ 73	△ 861

※常住人口は 10 月 1 日現在の集計値、人口動態は 1 月 1 日～12 月 31 日の期間であるため、「次年度人口－今年度人口 ≠ 人口動態」

※常住人口は、5 年に一度の「国勢調査」で基準人口が見直される。

※ R 4 年常住人口については、茨城県長期時系列表より作成。

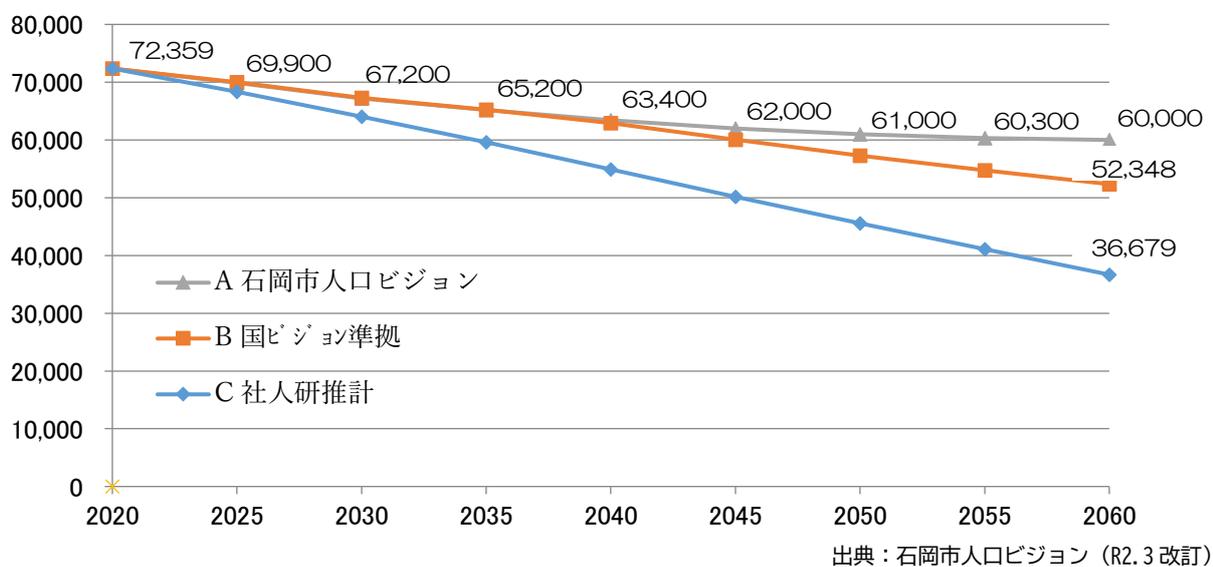


※合計特殊出生率とは、「その年次の 15 歳から 49 歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1 人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子供を生むとしたときの子供の数に相当し、人口動態の出生の傾向をみるときの主要な指標」(茨城県「令和 3 年茨城県人口動態統計(確定数)の概況」より一部引用) のこと。

人口動態は、出生・死亡の自然動態と転入・転出の社会動態に分けられます。自然動態は、死亡数が出生数を大きく上回る状況にあり、年々自然減少の幅が拡大しています。社会動態は、転出入の差が埋まりつつあります。令和4年においては、総務省統計局の全国的な分析では、外国人が大きな影響を与えていると結論付けています。

なお、近隣のかすみがうら市・小美玉市の転入超過は外国人の転入増が主要因であるものの、本市においては、日本人の転出者が多く、外国人の転入者が少なかった要因で2市と比較して大幅な社会減となっています。

2 石岡市の人口ビジョン



A 石岡市人口 ビジョン	石岡市が今後も持続的に発展していくため、人口の将来展望として示したものの。 ①合計特殊出生率の上昇、②社会増減の転入増により、2060年で6万人を維持するとしている。
B 国ビジョン 準拠	2060年で1億ほどの人口を確保するとする、国の長期ビジョンにおける人口推計に基づき算定したもの。2060年で52,348人と見込む。
C 社人研推計	2015年の国勢調査を基礎として国立社会保障・人口問題研究所が推計したもの。2060年で36,679人と見込む。

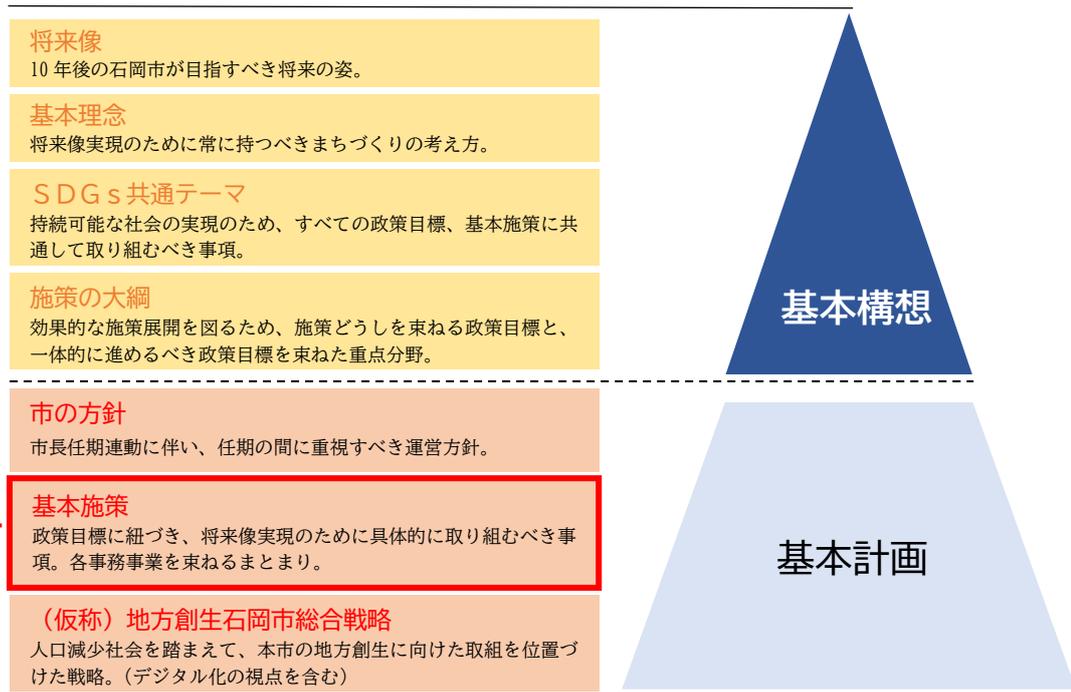
人口ビジョンについては、現在の石岡市人口ビジョン (R2.3改訂) を基本として、引き続き2060年で6万人を維持することを目標としています。しかしながら、実際はCの社人研推計の推移となっているため、ギャップを埋めるための実効性のある取組が必要となっています。また、インフラ整備等に関する関連計画の将来人口の設定においては、石岡市人口ビジョンを想定すると過大投資となる可能性があることから、より実態に即した推計値を使用する必要があります。

3 総合計画と総合戦略の関係性

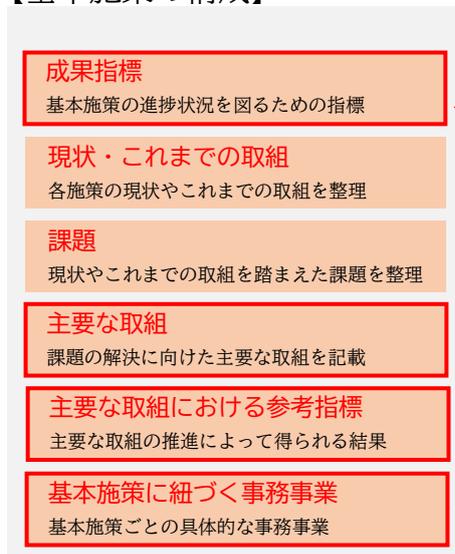
総合戦略を、総合計画第2期基本計画内に位置づけることで、2つの計画がもつ将来におけるまちづくりの方向性を共有し、地方創生に向けた取組を深化させます。

具体的には、総合戦略における講ずべき施策の基本的な方向性ごとに整理した「具体的な施策」、「具体的な施策ごとの事業」さらに「数値目標」および「KPI」について、総合計画第2期基本計画の各基本施策と連動させ、より効果的・効率的な施策展開や進捗管理を行います。

【総合計画の構成】



【基本施策の構成】



【総合戦略の構成】

